

News Release

令和4年7月25日
トヨタカーラ愛媛株式会社

持続可能なスマートアイランドを目指す松山市中島において 観光客と地域住民向けに超小型電気自動車（BEV）「C+pod」を活用した 週末カーシェアリングの実証実験を開始

トヨタカーラ愛媛株式会社（代表取締役社長：松田卓恵）は、松山市 SDGs 推進協議会のスマートアイランドモデル分科会活動の一環として、中島の島内関係事業者の協力のもと、超小型電気自動車「C+pod」（シーポッド）を活用した週末カーシェアリングの実証実験を開始します。本実証実験と中島の魅力との相乗効果を図り、官民連携で住み続けられる地域を目指します。

※松山市は令和2年度の「SDGs 未来都市（33 都市）」及び「自治体 SDGs モデル事業（10 事業）」に選定されました

1. C+pod 発着拠点

実施場所：中島 大浦港 駐車場

2. スケジュール

実証期間：令和4年7月30日（土）から約1年間

シェアリングカーとしての利用開始日：令和4年7月30日（土）

業務用車として社会福祉法人島寿会の利用開始日：令和4年8月1日（月）

※7月30日（土）11時30分から報道機関様への説明会を予定しております

【取り組み内容】

本実証実験は、トヨタ自動車の会員制カーシェアリングサービス「TOYOTA SHARE」を活用し、超小型電気自動車「C+pod」（シーポッド）1台を、平日は社会福祉法人島寿会が業務用車として利用し、週末はシェアリングカーとして一般会員が利用するという、地域企業の業務用車とシェアリングカーの併用モデルに取り組むものです。C+pod を活用した地域企業の業務用車とシェアリングカーの併用は、愛媛県で初めての取り組みになります。

【本実証実験の狙い】

環境にやさしい超小型電気自動車のシェアリングを実証的に追加することで、島の魅力との相乗効果を図り、またその魅力を発信することで、中島への交流・関係人口拡大を目指したいと考えております。

<参考 1> 松山市が中島で実現したい SDGs スマートアイランド構想

離島・中島が抱える人口減少や少子高齢化、エネルギーの脆弱性などの複数の地域課題を解決し、将来にわたる持続可能なスマートアイランドを実現する

- ① 太陽光エネルギーの地産地消と電動モビリティの活用 ⇒ 暮らしの質の向上と防災力強化
- ② 中島で創った「環境にやさしい電力」を道後などで活用 ⇒ ブランド力の向上と中島の魅力を発信
- ③ 市内回遊を促すメニューとリンクさせ観光客数と滞在時間を確保 ⇒ にぎわいの創出と経済循環

<参考 2> C+pod について

乗車定員：2人

最高時速：60km/h

一充電走行距離：150km（国土交通省審査値）

充電時間：200V/16A 約5時間 100V/6A 約16時間

その他：車内に設置されたアクセサリコンセントから、バッテリーに蓄えた電力を「走る」以外にも使用可能です。また、オプションの外部給電システム（ヴィーグルパワーコネクター付）を活用することでいざという時の備えとして役立ちます。合計 1500Wまで対応するので、消費電力の大きな電気製品も利用可能です。



※イラストのシルエットは軽自動車（ピクシス エポック）。

※（ ）内の数値はピクシス エポック比。

お問い合わせ：トヨタカローラ愛媛株式会社

担当：営業部 村田 近松

TEL：089-922-3387

E-mail：k.murata@tc-e.co.jp